

別紙様式

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

<子どもたちは私たちを見て育つ>

- 1 私たちは、子どもたちの心の目を濁らせません。
- 2 私たちは、法令等を遵守し、不祥事を許しません。
- 3 私たちは、子どもたちを守り、育てます。

## 不祥事根絶のための行動計画

三原市立幸崎小学校

作成責任者 校長 藤原 登美子

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の教職員の緊張感、危機感を保ち続けること</li> <li>○服務研修の内容や不祥事事案を、より自分のこととして受け止めること</li> <li>○心身の健康管理の不十分さが不祥事防止につながるという認識を持つこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の声かけと一層の状況把握に努める。</li> <li>○身近な事例や各自が不祥事を起こさないために工夫していることを取り上げる等、体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。</li> <li>○心身の健康がゆとりをもった職務遂行につながることを実感できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暮会等で日常の教育活動を振り返る機会をもち、自覚を高める。</li> <li>○広島県のみならず、他県の不祥事防止研修資料も活用し、研修を行っていく。</li> <li>○研修を担当制とし、内容の工夫により、マンネリ化を防ぐ。</li> <li>○週1回以上の早期退校日の実施。</li> <li>○月の勤務時間外在校時間を45時間以内にするるとともに、退校時刻を設定して業務に当たり、設定した退校時刻を必ず守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りの交流を行う。</li> <li>○計画に沿って実施する。</li> <li>○研修内容の振り返りと、交流を行う。</li> <li>○毎月の衛生委員会で勤務時間外在校時間の確認を行う。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員間の情報交換と、より綿密で適時適切な連携を進める。</li> <li>○服務研修は計画的に実施しているが、日常における教職員の小さな変化に対する注意喚起をお互いに行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の教職員が、「安心・安全な学校づくりを担う」という認識をもち、組織的な取組の充実を図る。</li> <li>○教職員のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・学級の様子についての情報と対応の仕方を共有し、組織で対応する。必要に応じて記録を保存し、情報の共有化を図る。</li> <li>○分掌部会や学年部会でお互いの仕事の進捗状況を確認し合い、協働意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月の不祥事防止委員会や生徒指導委員会、衛生委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○校内の各種委員会の定例化と充実を図る。</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談窓口の周知の徹底とともに、児童や保護者が、相談しやすい体制や風土づくりをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談窓口の周知徹底を図るとともに、あらゆる場面で、児童・保護者と積極的なコミュニケーションを図り、より相談しやすい体制や風土をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談窓口の周知徹底を図る。</li> <li>○児童・保護者への挨拶や積極的な声かけを行い、より良い関係をつくっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期末に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> </ul>